

問1 戦国大名の朝倉氏が定めた「城郭の構築に制限を設ける規定」や、伊達氏が定めた「年貢を納めない農民への処罰に関する規定」など、当時の大名が独自に定めた法典が持っていた共通の目的として、最も適切なものはどれか。（2024年 奈良県公立入試 類似）

1. 土地をすべて公有とし、農民に平等に配分して税収を安定させること
2. すべての裁判を天皇や公家が行うという原則を確立すること
3. 領国内の秩序を安定させ、軍事・経済の両面から支配体制を強化すること
4. 室町幕府の将軍から授かった権限を、領民に広く知らしめること

問2 豊臣秀吉による朝鮮出兵が始まった1592年（文禄の役）よりも前の時代に、世界で起こった歴史的出来事として正しいものを答えなさい。

（2017年 高知県公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国で、奴隷制の存廃をめぐる北部と南部の対立が深まり、南北戦争が始まった。
2. ポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸の喜望峰を経てインドに到達した。
3. ドイツにおいて、当時として最も民主的といわれたワイマール憲法が制定された。
4. フランスにおいて、市民が自由と平等を求めて蜂起し、フランス革命が起こった。

問3 15世紀末、ポルトガルの航海者がアフリカ大陸南端の喜望峰を回ってインドに到達したことで、ヨーロッパからアジアへの直接的な海上ルートが確立されました。この人物が切り開いた「インド航路」について述べたものとして、最も適切なものを答えなさい。（2017年 高知県公立入試 類似）

1. フェルディナンド・マゼランが、世界一周航海の一環として立ち寄った。
2. バスコ・ダ・ガマが、香辛料などの交易を目的として到達した。
3. クリストファー・コロンブスが、西回りでアジアを目指す途中に到達した。
4. マルコ・ポーロが、陸路でアジアを訪れた帰路に発見した。

問4 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の戦国時代の戦い方や社会にどのような変化をもたらしましたか。最も適切な説明を選んでください。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 足軽による集団戦法が普及し、強力な攻撃を防ぐために城の造りがより堅固になった
2. 騎馬武者による一騎打ちが戦いの主流となり、個人の武勇がより重視されるようになった
3. 弓矢や刀剣が全く使われなくなり、すべての兵士が鉄砲のみを装備して戦うようになった
4. 鉄砲の製造に高度な技術が必要だったため、戦国大名同士の争いが一時的に停止した

問5 15世紀後半、ポルトガルの支援を受けたバスコ・ダ・ガマが、リスボンを出発してアフリカ大陸南端の喜望峰を経由し、到達に成功した地域はどこですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 中国
2. 北アメリカ
3. インド
4. カリブ諸島

問6 戦国時代の甲斐国（現在の山梨県）を治めた武田氏が定めた「甲州法度之次第」のように、各地の戦国大名が領国支配のために定めた法について、その特徴を説明したものとして適切なものはどれか。（2021年 京都府公立入試 類似）

1. 全国の公家を統制し、儀式や行事のあり方を細かく規定することで天皇の権限を制限した。
2. 朝廷が定めた律令制度を復活させ、中央集権的な国家体制を再構築することを目指した。
3. 鎌倉幕府が定めた御成敗式目をそのまま引用し、全国一律の公平な裁判を保証した。
4. 家臣同士の私的な争いを禁じる喧嘩両成敗などの規定を設け、大名による裁判権を強化した。

問7 室町時代後半に見られた、実力で上の身分の者を圧倒する社会的な風潮の中で、それまでの守護に代わって台頭した勢力があります。自らの力で領地を拡大し、独自の法律である「分国法」などを定めて領国を支配したこれらの勢力を何と呼びますか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 地頭
2. 戦国大名
3. 守護大名
4. 御家人

問8 日本の歴史において、守護・地頭の設置や御成敗式目の制定が行われた時代（鎌倉時代）の様子を説明した記述として、ふさわしくないものはどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. 元軍の侵攻に対し、九州の御家人たちが防戦にあたった。
2. 実力のある下の者が上の者を倒して地位を奪う、下剋上の風潮が広がった。
3. 将軍と御家人が、土地を媒介とした御恩と奉公の主従関係を結んだ。
4. 北条氏が執権の職に就き、幕府の政治を動かした。

問9 「朝倉孝景条々」や「甲州法度次第」といった分国法の中に見られる、戦国大名による統治の具体的な特徴として正しいものを一つ選びなさい。（2023年 福井県公立入試 類似）

1. 将軍の許可なく大名同士が婚姻を結ぶことを禁じ、参勤交代の義務を明文化した
2. すべての土地と人民は天皇に帰属するという公地公民の原則を再確認した
3. キリスト教を保護し、ヨーロッパとの自由貿易を領国内の全ての商人に奨励した
4. 家柄に関わらず有能な人材を登用するルールや、許可なく城を構えることを禁止する規定を設けた

問10 戦国大名が「分国法」を制定した目的や、その社会的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 下剋上の世において、家臣同士の私的な争いを禁じ、領国内の秩序を安定させて支配力を強めるため。
2. 裁判の迅速化を図るため、過去の判例を整理して評定衆の裁決の基準を明確にするため。
3. 徳川将軍家への忠誠を誓わせ、大名による勝手な婚姻や城の補修を制限して謀反を防ぐため。
4. 幕府の法に基づく全国統一的な裁判基準を確立し、朝廷の権威を回復させるため。

問11 日本列島の地理的区分において、中国地方の日本海側に位置する島根県にあり、戦国時代に大名の保護を受けた商人たちによって大規模な開発が進められた銀山はどれですか。（2023年 岐阜県公立入試 類似）

1. 足尾銅山
2. 石見銀山
3. 生野銀山
4. 佐渡金山

問12 室町時代後期、応仁の乱をきっかけに幕府の権威が衰えると、実力で領地を拡大する戦国大名が登場しました。彼らが自らの領国内の武士や民衆を統治し、秩序を維持するために独自に定めた法を何といいますか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 武家諸法度
2. 分国法
3. 御成敗式目
4. 公事方御定書

問13 戦国時代、現在の福井県にあたる北陸地方の要所に位置し、戦国大名の朝倉氏が有力な家臣を城下町へ集住させて築き上げた拠点の名称を選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 山口
2. 安土
3. 小田原
4. 一乗谷